ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。

デジアナヘッドエンド

□HEDATBL

取扱説明書

目次

はじめに　安全上のご注意

ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について
この「取扱説明書」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	△記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⊘記号は，禁止の行為を示しています。 図の中に禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。
	●記号は，行為を強制したり，指示したりする内容を示しています。 図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●本機は，直径1.6mm以上の銅線で，必ずアースしてください。
アースをしないと感電の原因となります。

●ACコードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近づけたりしないでください。
ACコードが破損して，火災・感電の原因となります。
ACコードが傷んだら（芯線の露出，断線など）当社 支店・営業所に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●本機の内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。
火災・感電の原因となります。

●本機に水が入ったり，濡れたりしないようにしてください。本機の上に薬品や水の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。
また，動物が，本機の上に乗らないようにご注意ください。
尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

●万一，本機の内部に，異物や水が入った場合，本機の電源を切り，ACプラグをACコンセントから抜いて，当社 支店・営業所にご連絡ください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●本機内部のユニットのカバーを外したり，改造したりしないでください。また本機ユニットの内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は，当社 支店・営業所にご依頼ください。

●万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り，その後，必ずACプラグをACコンセントから抜き，煙や臭いが出なくなるのを確認して，当社 支店・営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。

⚠警告

●雷が鳴出したら，本機やケーブル，ACプラグには触れないでください。
感電の原因となります。

●濡れた手で，ACプラグを抜差ししないでください。
感電の原因となります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。
すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となります。
また，ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

⚠注意

●本機は，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器のそばなど，油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●本機に乗らないでください。
破損して，けがの原因となることがあります。

●本機の上にものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり，落下したりして，けがの原因となることがあります。

●温室・サンルーム・屋外などの，高温または湿気の多い場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●ACプラグをACコンセントから抜くときは，ACコードを引っ張らないでください。
ACコードが傷つき，火災・感電の原因となります。
必ずACプラグを持って抜いてください。

●ACコードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。
発熱して，火災の原因となることがあります。

●リモコンは，新しい電池と古い電池をいっしょに使用しないでください。
電池の破裂，液漏れにより，火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

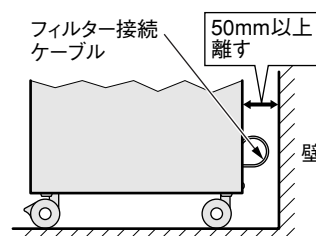
●リモコンに電池を入れる場合，極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意して，表示どおりに入れてください。間違えると，電池の破裂，液漏れにより，火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

●長期間，リモコンを使用しないときは，リモコンから電池を取出してください。
液漏れの原因となることがあります。

●万一，リモコン内で電池の液漏れが起こったら，当社 支店・営業所にご相談ください。
また，液が身体についたときは，水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

● 本機の背面は壁から50mm以上離してください。

機器設置時は背面の排気口をふさがないことと，フィルター接続ケーブルに無理な力が加わらないように，本機の背面を50mm以上壁から離して設置してください。

● 本機の漏えい電流は約2mA，突入電流は約75Aです。施設のブレーカーは，定格感度電流5mA以上，突入電流70A以上（10ms）のものをご使用ください。

● 本機の受信周波数帯域と同じ周波数を用いた携帯電話・無線機などから離してご使用ください。

本機が使用する周波数帯域（470～770，1032～2150MHz）に相当する周波数を使った携帯電話・無線機などを,本機やケーブルの途中に接続している機器に近づけると，その影響で映像・音声などに不具合が生じることがあります。
そのため，配線に使用するケーブルや分配器，直列ユニットなどには，シールド性能の高い，当社の DIGITAL デジタル放送対応 マーク商品をおすすめします。

次の点にご留意ください

- 本機は，マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり，マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは，一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 本機のチューナー部は，社団法人 電波産業会（ARIB）の運用仕様に基づいた仕様になっています。その仕様に変更があった場合，本機の規格を変更することがあります。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。
- B-CASカードは，放送を視聴していただくための大切なカードです。お客様の責任で破損，故障，紛失などが発生した場合，再発行費用が必要となります。万一，破損，故障，紛失した場合，B-CASカスタマーセンター（TEL 0570-000-250，IP電話からの場合 045-680-2868）へご連絡ください。（その他，p.35，36の「業務用B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）」をよくお読みください）
- 万一，本機の不具合で，視聴または録画できなかった場合，補償についてはご容赦ください。
- DVDレコーダー・ビデオデッキなどで録画・録音したものは，個人として楽しむほかは，著作権法上，権利者に無断で使用することは禁止されています。
- コピー制御のしくみに関する一般的な内容については，下記のホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会（Dpa）　http://www.dpa.or.jp/
- メールなどデジタル放送に関する情報は，本機に記憶されます。万一，本機の不具合でこれらの情報が消失した場合，復元はできないため，その内容の補償については，ご容赦ください。
- 取扱説明書に記載の画面は，説明用のものであり，実際に表示されるものと異なることがあります。チャンネル番号，チャンネル名，番組名を含め，実際に表示される内容については，本機に接続されたテレビの画面でご確認ください。

概要・特長

概要

BSデジタル放送と地上デジタル放送の信号をアナログ信号に変換し，UHF帯（ch.13〜62）の空きチャンネルを利用して再送信するヘッドエンド装置です。

特長

最大実装3局まで対応

最大3チャンネル分のユニットをひとつのケース（ベース）に収納できますから，1台でBSデジタル放送または地上デジタル放送の番組を合わせて3チャンネル伝送することができます。

受信チャンネルを任意に設定

BSデジタル放送と地上デジタル放送の受信チャンネルを任意に設定できます。また，出力チャンネルは，UHF（ch.13〜62）の指定のチャンネルに設定できます。

地上デジタルパス回路内蔵

地上デジタル放送用パス回路を内蔵していますから，施設内に地上デジタル対応テレビとアナログテレビが混在しても使用できます。

BS･110˚CSパス回路内蔵

BS･110˚CSパス回路とBS･110˚CSアンテナ用電源を内蔵していますから，BS･110˚CS放送を受信しているシステムにも対応できます。

出力レベル調整回路付き

BSデジタル放送または地上デジタル放送をアナログに変換した後の信号と，地上デジタル放送用パス回路を通った地上デジタル放送信号の出力レベルを独立して調整できますから，アナログに変換した信号と地上デジタル信号の出力レベルを最適な値に調整できます。

外部フィルター接続端子付き

アナログに変換した信号の出力レベルが高いときなど，地上デジタル放送用パス回路に，特殊なフィルターが必要になることがあります。本機は，地上デジタル放送用パス回路にフィルターを容易に挿入できる外部フィルター接続端子がありますから，多様な受信環境に対応できます。

保守・点検が容易

デジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**は取外しできますから，保守・点検が容易にできます。

各部の名称と機能

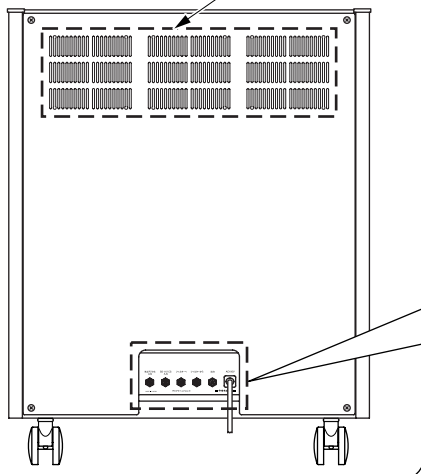
デジアナヘッドエンド用ベース HEDAベース1
主電源スイッチ
入力測定端子（㊀10dB）
（F型コネクター）
●BS・110°CSの入力測定端子です。
●使用しないときは，付属の防塵キャップを取付けてください。
BS・110°CSアンテナ電源スイッチ
●BS・110°CSアンテナへ電源（DC15V）を供給します。
●出荷時は「OFF」になっています。
MASPRO
HEDAベース1
地上デジタル出力レベル調整
●地上デジタル放送信号の出力レベルを0〜㊀20dBの範囲で連続して調整できます。
●出荷時は「0dB」になっています。
ご注意
地上デジタル放送のパス信号は，アナログに変換した信号より㊀10dB低いレベルで運用してください。
アナログ出力レベル調整
●アナログ信号に変換したBSデジタル放送または地上デジタル放送信号の出力レベルを0〜㊀10dBの範囲で連続して調整できます。
●出荷時は「0dB」になっています。
出力測定端子（㊀10dB）
（F型コネクター）
使用しないときは付属の防塵キャップを取付けてください。
前面
DIGITAL ANALOG HEADEND
キャスター （4個）
前面の2個のキャスターは，ロックすることができます。設置後は必ずロックしてください。
FREE（可動）
LOCK
（固定）
デジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TBLU
モニター出力端子
（RCAピンジャック）
BSデジタル放送，地上デジタル放送の選局時に，映像を確認できます。
受信チャンネル表示 （デジタル）
●受信しているBSデジタル放送，地上デジタル放送の3ケタのチャンネル番号です。
●チャンネルスキャン終了後，表示のチャンネルに設定してください。（p.18「選局」をご覧ください）
出力チャンネル(アナログ)
ch. 44
モニター出力
ch. 101
電源
お知らせ
放送切換
チャンネル
MASPRO
HEDA-TBLU
DIGITAL TV TUNER DT35
TERRESTRIAL, BS, 110°CS DIGITAL Hi-Vision
出力チャンネル表示 （アナログ）
●BSデジタル放送，地上デジタル放送信号をアナログ信号に変換した出力チャンネル（物理チャンネル：ch.13〜62）です。
●出力チャンネルは変更できません。
チューナー部
p.8「チューナー部」をご覧ください。

各部の名称と機能 つづき

ご注意

ケーブルを接続するときは，コンタクトピン付きのF型コネクターを使用してください。

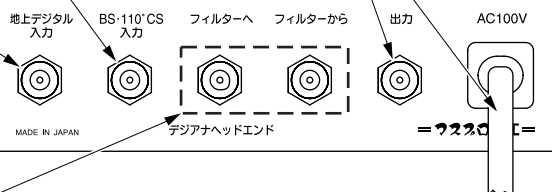
背面

排気口

地上デジタル入力端子
（F型コネクター）

BS・110˚CS入力端子
（F型コネクター）
使用しないときは，付属の防塵キャップを取付けてください。

出力端子
（F型コネクター）

ACコード
（0.9m）

地上デジタル入力　BS・110˚CS入力　フィルターへ　フィルターから　出力　AC100V
MADE IN JAPAN　デジアナヘッドエンド

外部フィルター接続端子
（F型コネクター）
- 本機の地上デジタルパス回路の前に外部フィルターを挿入するとき，使用します。
- 出荷時は，フィルター接続ケーブルを接続して，地上デジタルが通過する状態になっています。
（地上デジタルパス回路を使用しないときは，フィルター接続ケーブルを取外して，「フィルターへ」端子に別売のダミー抵抗器**DR7f**を取付けてください。）

フィルター接続ケーブル

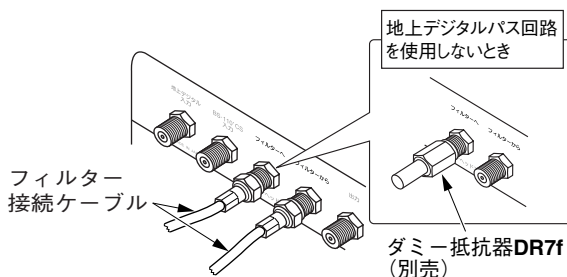
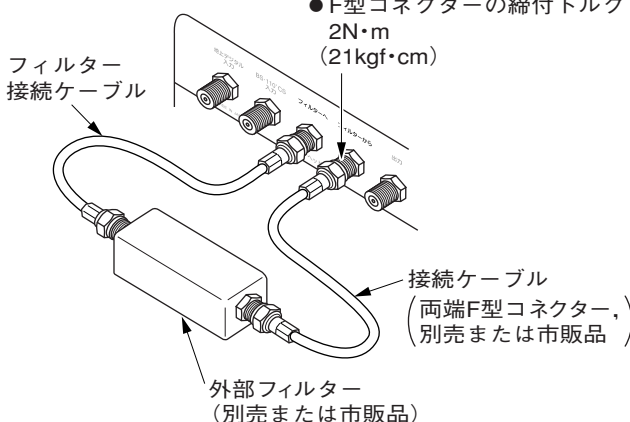
地上デジタルパス回路を使用しないとき

ダミー抵抗器**DR7f**
（別売）

外部フィルターの接続

- F型コネクターの締付トルク 2N・m （21kgf・cm）

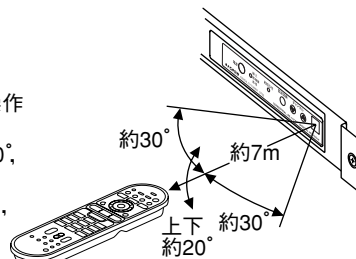
フィルター接続ケーブル

接続ケーブル
（両端F型コネクター，別売または市販品）

外部フィルター
（別売または市販品）

チューナー部

放送切換ボタン
- 放送の種類
（地上→BS→CS1→CS2）
を切換えます。
- 110˚CSデジタル放送は受信しません。

お知らせ表示灯
- 放送局から届いたメールがあるとき，点灯します。
- ダウンロード中は点滅します。
- 選局を行なったとき，1回点滅します。

リモコン受光部
- リモコンを受光部に向けて操作してください。
- リモコン受光角度は左右約30˚，上下約20˚です。
- リモコンを使用できる距離は，本機正面で約7m以内です。

約30˚　約7m　上下約20˚　約30˚

チャンネル∨∧ボタン
チャンネルを順に選びます。

電源ボタン
電源の「**入**」「**切**」をします。

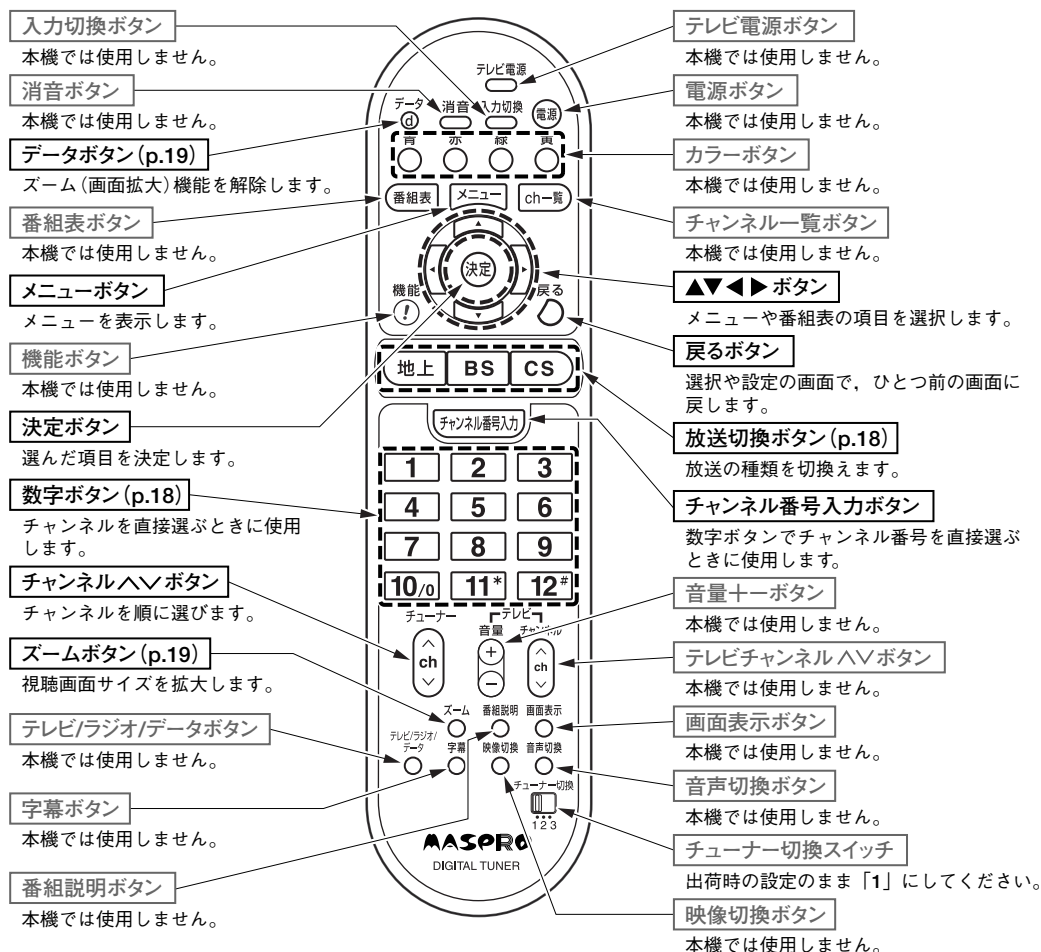
電源表示灯
電源表示灯は，チューナー部の作動状態によって色が変わります。

表示灯の色	作動状態
緑色	電源を入れて受信状態のとき。
橙色	電源を切って制御状態のとき。
赤色	電源を切っているとき。

ご注意

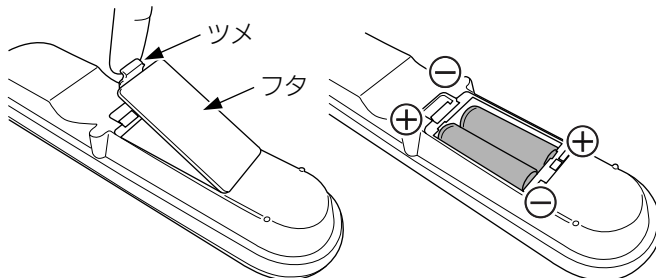
ソフトウェアをダウンロードしているときは，ACプラグをACコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。

各部の名称と機能 つづき

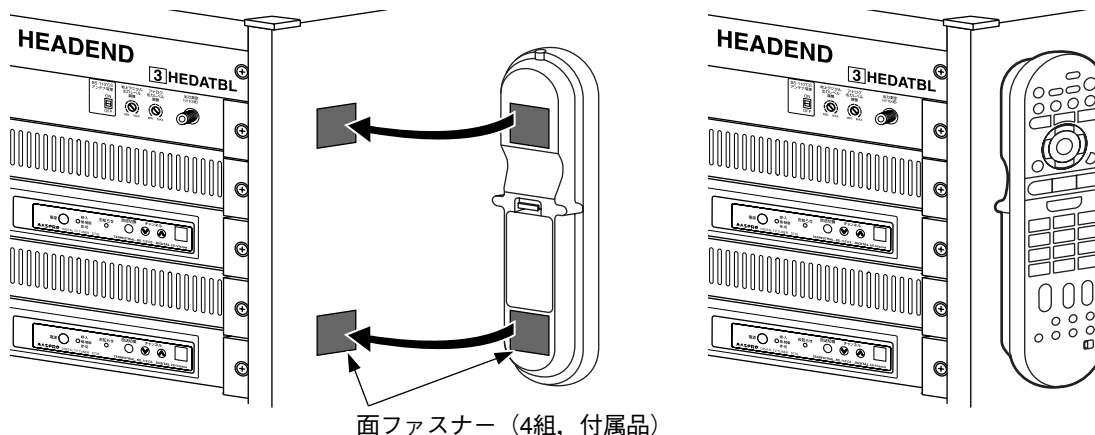
リモコン

電池の入れ方

① リモコン裏面のツメを手前に引きながら，フタを上に持上げ，取外します。
② 付属の単3形乾電池を⊕，⊖の極性を間違えないように入れます。
③ フタを取付けます。

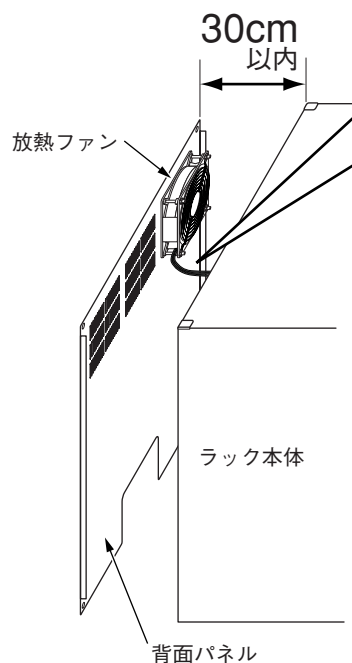
ご注意

乾電池を交換する場合，2本とも新しい同じ種類のものに交換してください。

リモコンの紛失防止

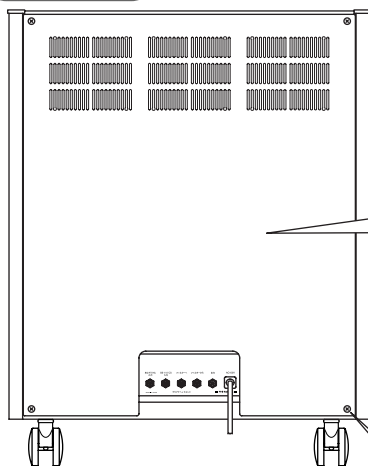
付属の面ファスナーで本機に仮固定すると，リモコンの紛失を防ぐことができます。

面ファスナー（4組，付属品）

設定の前に

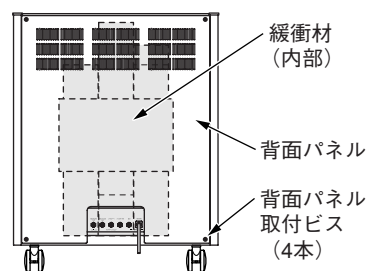
●本機背面の背面パネルを取外して，内部にある保護用緩衝材を取除いてください。
●本機のアースをしてください。

背面パネルの取外し

ご注意

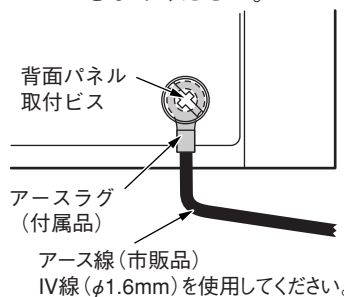
放熱ファンの電源コードに無理な力が加わらないように背面パネルは，ラック本体から30cm以上離さないでください。
無理に引っ張ると，電源コードが断線して故障の原因となります。

本機背面

緩衝材の取外し

本機背面の内部に，輸送時の保護用緩衝材(段ボール製)が入っています。背面パネル取付ビス(4本)を取外して，背面パネルを取外し，緩衝材を取除いてください。

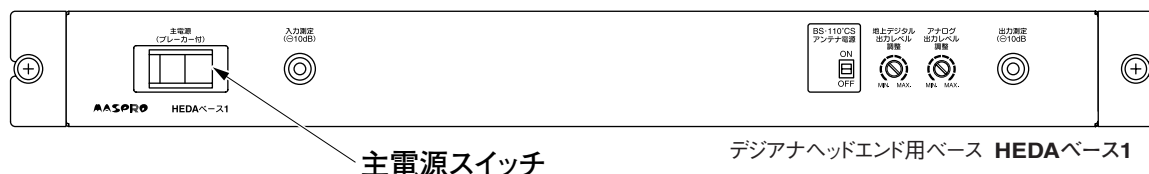
緩衝材
(内部)
背面パネル
背面パネル
取付ビス
(4本)

アースについて

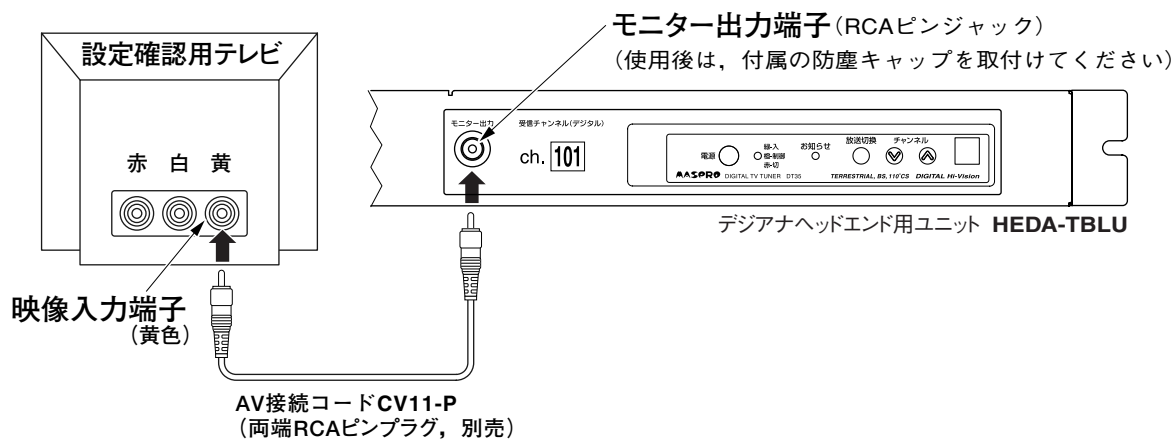
背面パネル取付ビスを取外して，付属のアースラグを取付けてアースをしてください。

背面パネル
取付ビス
アースラグ
(付属品)
アース線(市販品)
IV線(ϕ1.6mm)を使用してください。

設定の準備

設定時のご注意

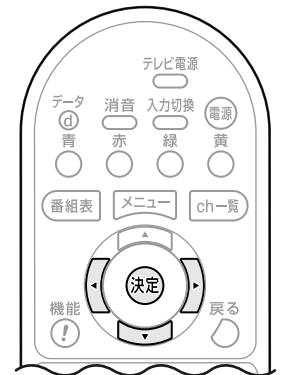
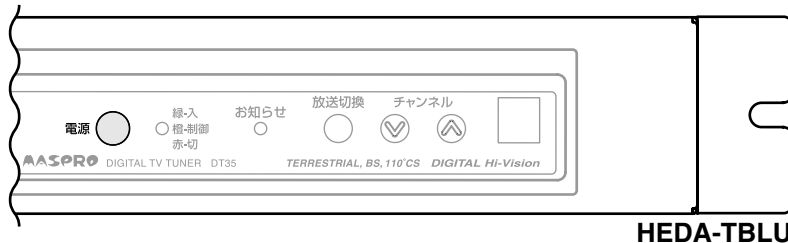
各種設定は，1台ずつ手動でデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**の電源（チューナー部の電源ボタン）を入れて行なってください。また，設定が終了したら，一度電源を切ってください。
複数のデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**の電源を入れた状態で，設定（リモコンの操作）をすると，複数のユニットが反応して，正しく設定できなくなります。
すべてのユニットの設定が完了したら，すべてのデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**のチューナー部の電源ボタンを押して電源を入れてください。

1. HEDAベース1の電源（主電源スイッチ）を入れる

2. 設定確認用テレビを接続する

設定をするデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**のモニター出力端子と，設定確認用テレビの映像入力端子（黄色）を別売のAV接続コード**CV11-P**（両端RCAピンプラグ）で接続します。

初期設定　かんたん初期設定

テレビ画面の指示にしたがって最小限の設定を行うことで，視聴できるようにするためのものです。

ご注意

「**かんたん初期設定**」を，途中で中止したときや，設定が正しくないときは，視聴画面が表示されないことがあります。この場合，もう一度，「**かんたん初期設定**」を行なってください。

以下の操作をすべてのデジアナヘッドエンド用ユニットHEDA-TBLUで繰返し行います。

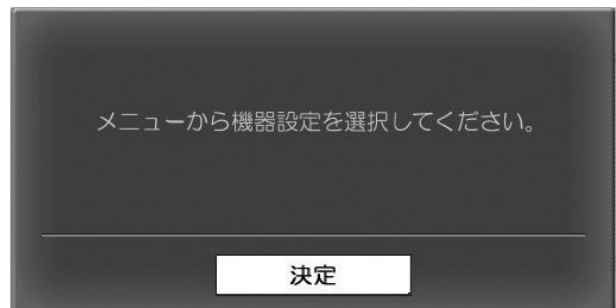
1. HEDA-TBLUの電源を入れる

① チューナー部の 電源 ◯ を押して，電源を入れます。

ご注意

リモコンを使用せず，必ずチューナー部の電源ボタンを押してください。

② 電源表示灯が緑色に点灯します。

初めて電源を入れたとき，右のような画面が表示されます

(決定) 押す

2. かんたん初期設定の選択

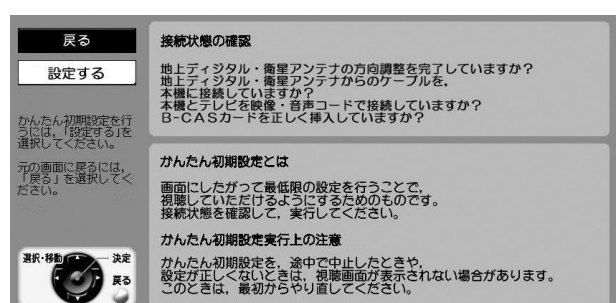
「**かんたん初期設定**」が選択されていることを確認し

(決定) 押す

3. 設定するの選択

「**接続状態の確認**」および
「**かんたん初期設定実行上の注意**」を読み

「**設定する**」が選択されていることを確認し

(決定) 押す

かんたん初期設定 つづき

4. 接続するテレビの選択

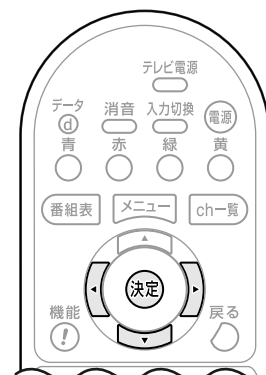
ご注意

通常は「**4:3／ノーマル**」の設定にしてください。
「**16:9／ワイド**」に設定すると標準（4:3）テレビで視聴した場合，画面が左右につぶれて縦長の画面になります。

推奨設定

- 施設内のすべてのテレビが4:3のとき ：「**4:3／ノーマル**」
- 施設内のすべてのテレビが16:9のとき：「**16:9／ワイド**」
- 4:3と16:9のテレビが混在しているとき ：「**4:3／ノーマル**」

で「**4:3／ノーマル**」または「**16:9／ワイド**」を選び

押す

5. 接続するD端子の選択

D端子（コンポーネント端子）で接続しないので，設定不要です。

で「**次へ**」を選び

決定 押す

6. 接続設定変更の確認

「**決定**」が選択されていることを確認して

決定 押す

7. 接続設定保存の確認

設定を保存する場合，10秒以内に

で「**はい**」を選び

決定 押す

設定保存のメッセージが表示され，
約3秒後に「**受信地域の設定**」に切換わります

p.14へ

かんたん初期設定 つづき

8. 郵便番号の入力

1 ～ 10/0 でお住いの郵便番号を入力し

● 10/0 ボタンは「0」として機能します

間違って入力した場合

◀ を押し，番号を消去して，再度，入力してください。

▼ 押す

9. 県域の選択

◀ ▶ でお住いの地域を選び

● 伊豆，小笠原諸島地域は，「**東京都島部**」を選んでください。
● 南西諸島鹿児島県地域は，「**鹿児島県島部**」を選んでください。

▼ 押す

10. 次への選択

「**次へ**」が選択されていることを確認して

決定 押す

11. 受信地域の設定の完了

受信地域の設定が完了しました

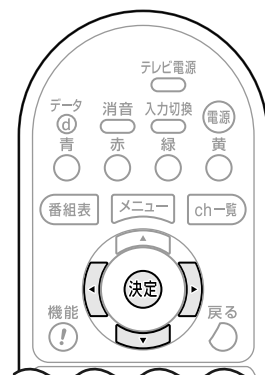
約3秒後に「**衛星アンテナ電源設定**」に切換わります

決定 を押すと，すぐに「**衛星アンテナ電源設定**」に切換わります

かんたん初期設定 つづき

衛星アンテナ電源設定

衛星アンテナ電源は必ず，「オフ」に設定してください。

BSデジタル放送を受信するときでも，以下の設定は必ず「オフ」にしてください。
衛星アンテナの電源供給は「BS・110°CSアンテナ電源スイッチ」(p.7)の操作で行ってください。

12. 「オフ」の選択

で「オフ」を選び

押す

13. 次への選択

「次へ」が選択されていることを確認して

決定 押す

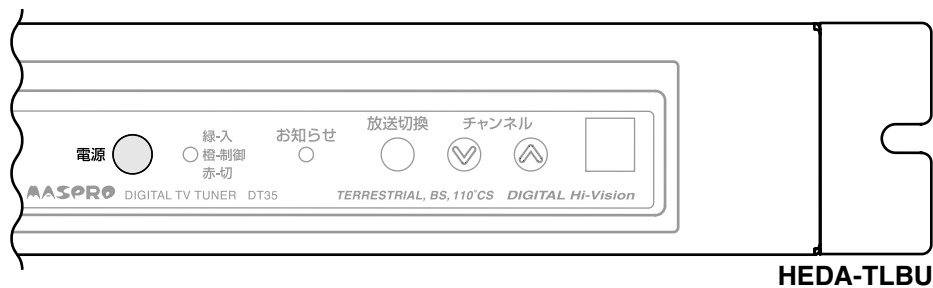
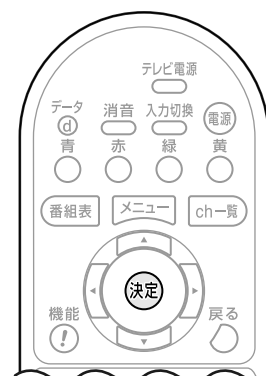
14. 衛星アンテナ電源設定の完了

衛星アンテナ電源設定が完了しました

約3秒後に「**受信チャンネルのスキャン**」に切換わります

決定 を押すと，すぐに「**受信チャンネルのスキャン**」に切換わります

p.16へ

かんたん初期設定 つづき

受信チャンネルのスキャン

地上デジタル放送が受信できるチャンネルを調べて，受信チャンネルを設定します。

15. チャンネルスキャンの開始

「次へ」が選択されていることを確認して

(決定) 押す

16. チャンネルスキャン実行中

チャンネルスキャンには，しばらく時間がかかります

チャンネルスキャンを中止する場合

(決定) 押す

17. チャンネルスキャンの終了

チャンネルスキャンの終了を確認し

「次へ」が選択されていることを確認して

(決定) 押す

18. 設定終了

(決定) 押す
（通常の視聴状態に戻ります）

チューナー部の 電源 ◯ を押して，電源を入れます。

地上デジタル放送が視聴できない場合

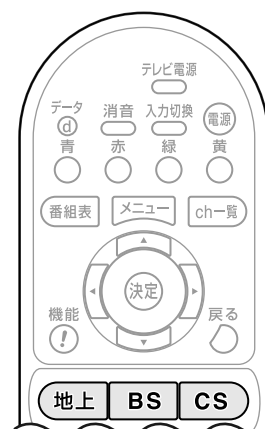
- アンテナ受信レベルによっては，チャンネルスキャンで，すべてのチャンネルが見つからないことがあります。この場合，「**再スキャン**」(p.24)を行なってください。
- 地上デジタル送信塔に，地上デジタル（UHF）アンテナが向いているか確認してください。

以上の操作をすべてのデジアナヘッドエンド用ユニットで繰返し行います。

放送を切換える

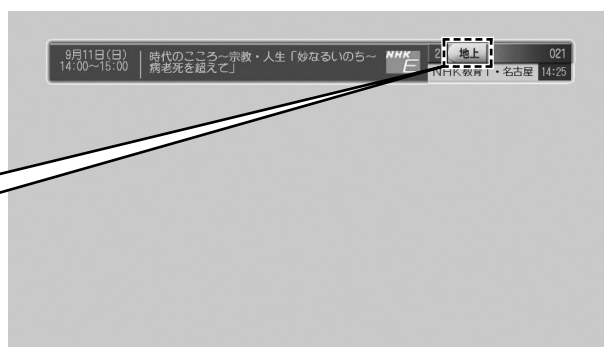
地上デジタル放送，BSデジタル放送，110˚CSデジタル放送を切換えます。

ご注意

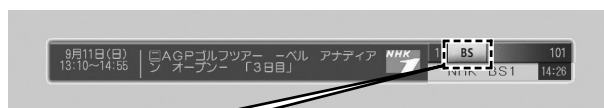
- 有料放送は視聴できません。
- 110˚CSデジタル放送は視聴できません。

地上デジタル放送

地上 押す

地上 と表示されます

- 受信チャンネルのスキャン(p.16，24)を行なっていない場合，地上デジタル放送には切換わりません。

BSデジタル放送

BS 押す

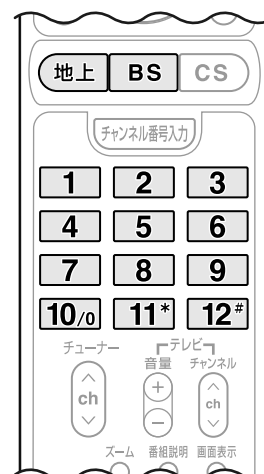
BS と表示されます

110˚CSデジタル放送は受信できません。

選局

ワンタッチ（数字）ボタンで直接選局する

- リモコンのワンタッチ（数字）ボタンであらかじめ登録してあるチャンネルを選局します。
- デジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**に表示してある受信チャンネルを選局します。

ご注意

有料放送は視聴できません。

地上，BS で見たい放送（地上デジタル放送，BSデジタル放送）を選ぶ

1 ～ 12# 押す（あらかじめ登録してあるチャンネルを選局します）

ワンタッチ（数字）ボタンに登録してある放送局

BSデジタル放送

チャンネル表示	リモコンボタン	放送局名	チャンネル表示	リモコンボタン	放送局名
101	1	NHK BS1	161	6	BS-TBS
102	2	NHK BS2	171	7	BSジャパン
103	3	NHK ハイビジョン	181	8	BSフジ
141	4	BS日テレ	211	11*	BS11デジタル
151	5	BS朝日	222	12#	TwellV

放送局名やチャンネルは実際の表示と異なることがあります。

地上デジタル放送

本機を設置する地域で受信できる放送局名はp.32,33をご覧ください。

チャンネル表示	リモコンボタン	チャンネル表示	リモコンボタン
011	1	071	7
021	2	081	8
031	3	091	9
041	4	101	10/0
051	5	111	11*
061	6	121	12#

放送局名やチャンネルは実際の表示と異なることがあります。

ズーム(画面拡大)機能

標準(画面の横・縦比4:3)のテレビで，アナログに変換した地上デジタル放送を視聴した場合，番組によっては，テレビ画面より小さな視聴画面(額縁画面)になることがあります。本機は，ズーム(画面拡大)機能により，テレビ画面いっぱいに拡大して視聴できます。

推奨設定

- 施設内のすべてのテレビが4:3のとき :「**ズーム中**」
- 4:3と16:9のテレビが混在しているとき:『**ズーム「しない」**』

地上デジタル放送(16:9の映像ソースの場合)視聴時に

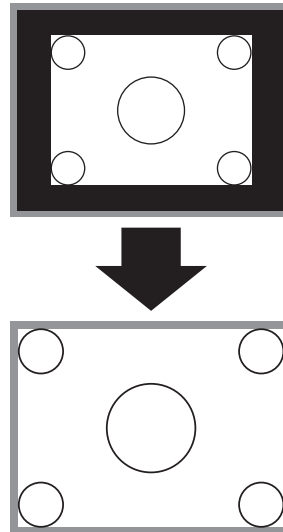
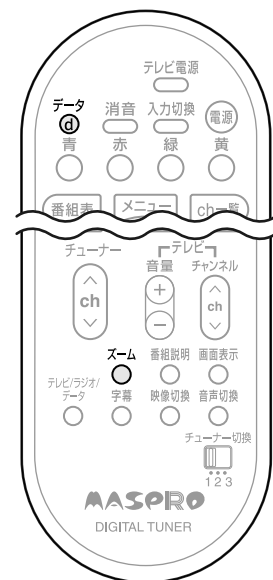
ズーム ○ 押す
(画面右下に「ズーム「しない」」と表示されます)

3秒以内に再度

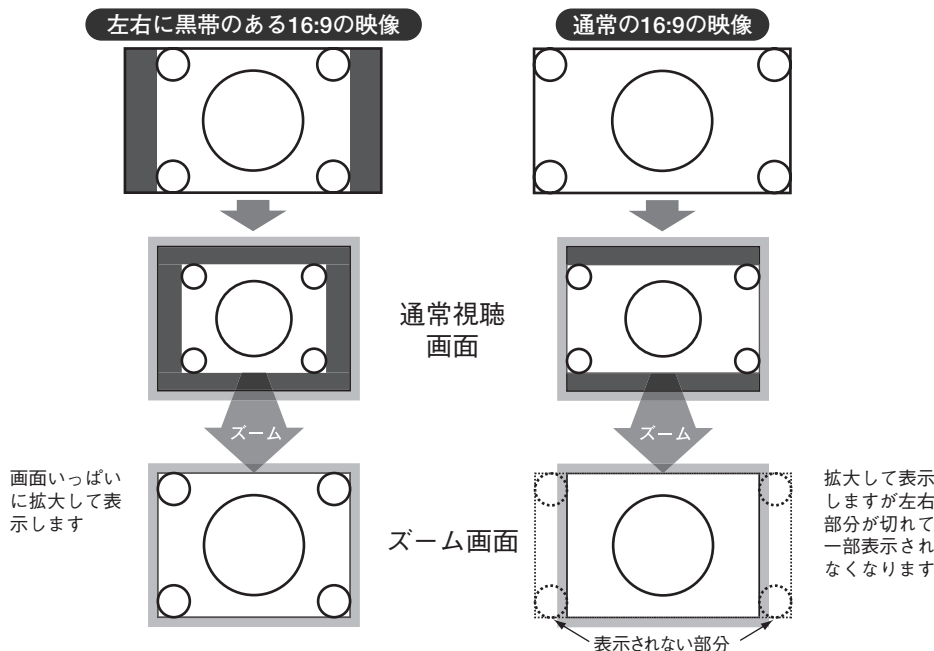
ズーム ○ 押す(画面が拡大されます)

ズーム ○ 押す
(画面右下に「**ズーム中**」と表示されます)

3秒以内に

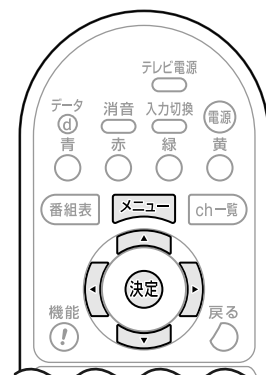
ズーム ○ 押す(画面が通常視聴画面に戻ります)

ご注意

- ズーム(画面拡大)機能は，BSデジタル放送，110˚CSデジタル放送視聴時は使用できません。
- ズーム(画面拡大)機能は，「**接続するテレビの種類**」(p.13, 25)が「**4:3／ノーマル**」，および「**接続するD端子**」(p.13，25)が「**D1**」または「**D2**」のときのみ使用することができます。
- ズーム実行中に データ ⓓ を押すと，ズーム(画面拡大)機能を解除します。(もう一度 データ ⓓ を押すとデータ放送を表示します。本機では使用しませんから，さらに データ ⓓ を押して消去してください。)
- シネマサイズなどの一部の番組では，ズーム(画面拡大)機能を使用しても，テレビ画面いっぱいに拡大しないことがあります。
- 額縁画面ではない映像を画面拡大させると，映像の左右部分が切れて一部表示されなくなります。

標準(4:3)のテレビでズームしたときの表示例

情報を見る　B-CASカード情報・ソフトウェアバージョンの表示

- 挿入されているB-CASカードの情報，および，ソフトウェアバージョンの表示を行います。
- 本機からB-CASカードを取外さなくても，リモコン操作によって，カードIDが確認できます。

1. 機器情報一覧の選択

押す

で「**機器設定**」を選び

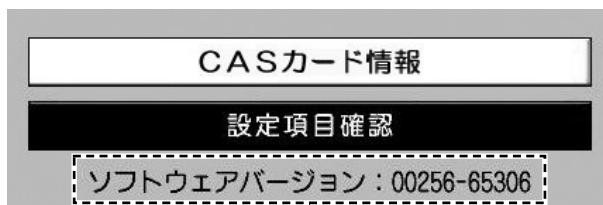
で「**機器情報一覧**」を選び

決定　押す

2. ソフトウェアバージョンの表示

「ソフトウェアバージョン」が表示されます

「**CASカード情報**」が選択されていることを確認して

押す

ソフトウェアバージョン

3. B-CASカード情報の表示

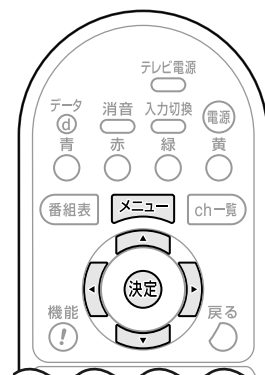
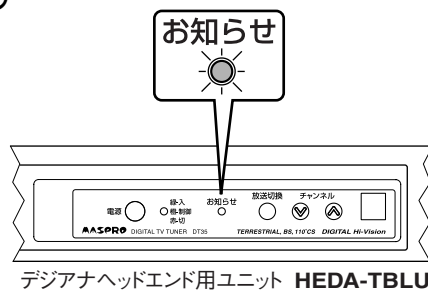
「**B-CASカードID**」は，お問合わせの際にも必要です。

押す
（「**機器情報一覧**」に戻ります）

B-CASカードID

情報を見る　放送メールを見る

● 放送メールには，放送局からのお知らせなどがあります。
● 未読のメールがある場合，本機前面の「お知らせ表示灯」が点灯します。
● 放送メールは40件まで保存できます。40件を超えた場合，自動的に古いものから順に消去され，新しいメールが追加されます。
● すべてのデジアナヘッドエンド用ユニットHEDA-TBLUの放送メールは，同じ内容のため，それぞれのユニット放送メールをすべて確認する必要はありません。

デジアナヘッドエンド用ユニット **HEDA-TBLU**

放送メールを見る

1. 放送メールの選択

メニュー　押す

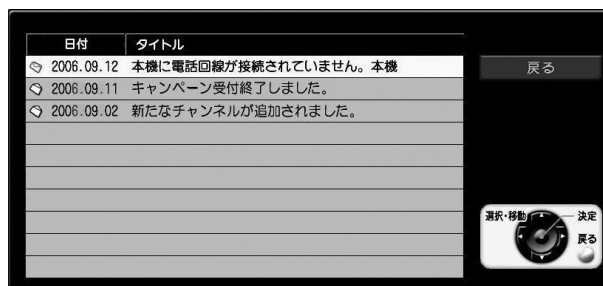
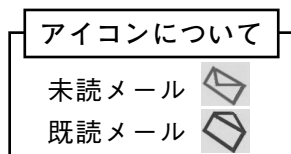
　で「情報を見る」を選び

　で「放送メール」を選び

　押す

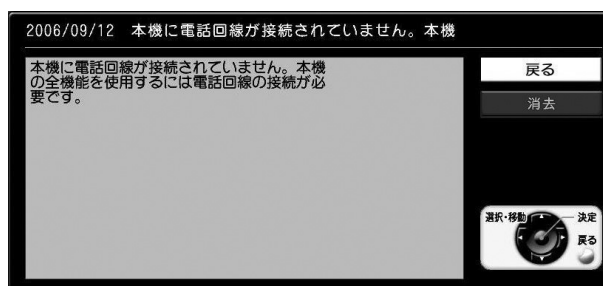
2. 項目の選択

　で見たい放送メールを選び

　押す

3. 放送メールの表示

　で放送メールを読終えたら

　で「戻る」を選び

　押す
（「放送メール」に戻ります）

未読のメールがなくなった場合，本機前面の「お知らせ表示灯」が消灯します。

放送メールを消去する

放送メールを消去する

1. 項目の選択

「放送メール」の表示画面（p.21）で

 で消去したい放送メールを選び

 押す

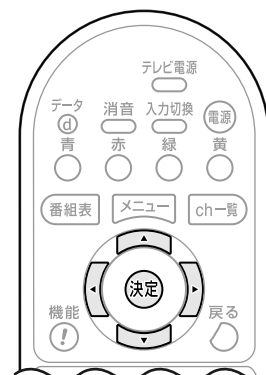
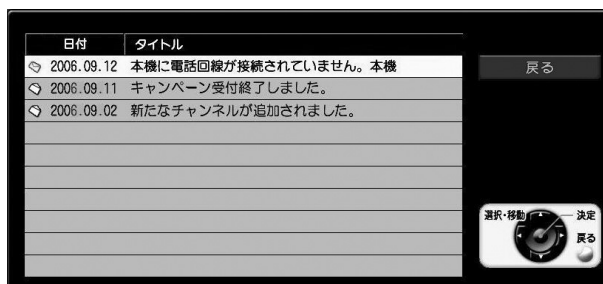
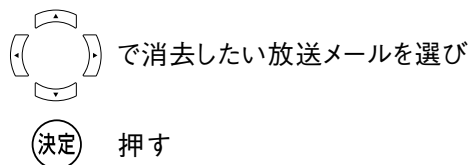
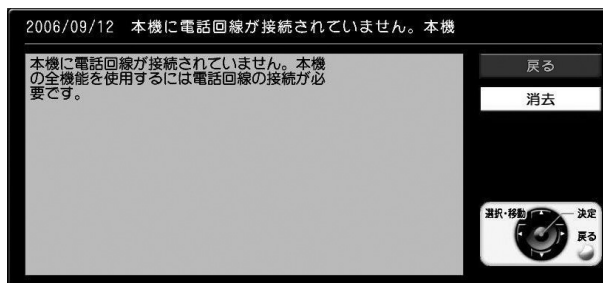
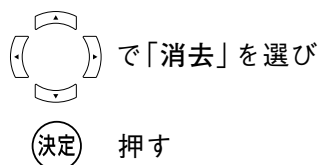
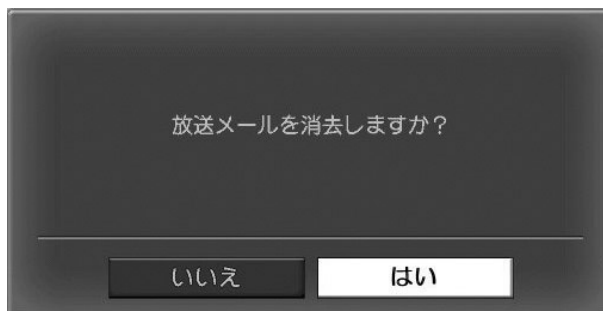
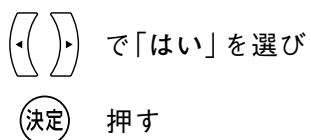
2. 消去の選択

 で「消去」を選び

 押す

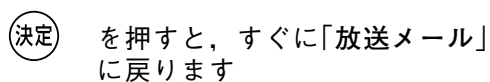
3. 放送メール消去の確認

 で「はい」を選び

 押す

4. 放送メール消去の完了

放送メールを消去しました

約3秒後に「放送メール」に戻ります

 を押すと，すぐに「放送メール」に戻ります

受信地域設定の変更

機器の移動などで，本機を今までと別の地域で使用するときに行います。
（設定変更後，「初期スキャン」(p.24) を行なってください）

1. 本機の詳細設定の選択

メニュー 押す

 で「**機器設定**」を選び

 で「**本機の詳細設定**」を選び

 押す

2. 受信地域の設定の選択

 で「**受信地域の設定**」を選び

 押す

3. 郵便番号の入力

 を押し，設定してある郵便番号を消去する

 でお住いの郵便番号を入力し

● 10/0 ボタンは「0」として機能します

 押す

4. 県域の選択

 でお住いの地域を選び

 で「**決定**」を選び

 押す

5. 受信地域の設定の完了

受信地域の設定が完了しました

約3秒後に「**本機の詳細設定**」に切換わります

 を押すと，すぐに「**本機の詳細設定**」に切換わります

受信チャンネルの変更

すでに設定してある受信チャンネルの設定を変更します。

初期スキャン	：機器の移動などで，本機を今までと別の地域で使用するときに行います。
再スキャン	：受信地域はそのままで，受信チャンネルが追加または変更されたときに行います。

ご注意

「**初期スキャン**」を行う場合，「**受信地域設定の変更**」(p.23)を最初に行なってください。

1. 本機の詳細設定の選択

 押す

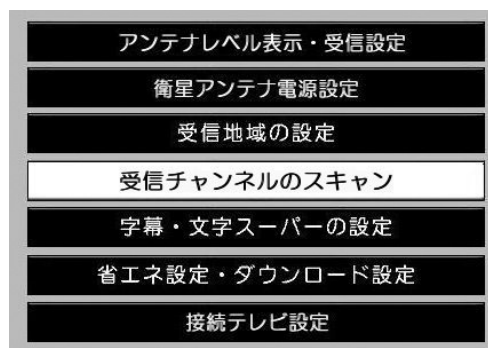
 で「**機器設定**」を選び

 で「**本機の詳細設定**」を選び

 押す

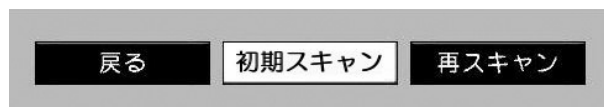
2. 受信チャンネルのスキャンの選択

で「受信チャンネルのスキャン」を選び

決定 押す

3. チャンネルスキャンの選択

「**初期スキャン**」または「**再スキャン**」を選び

決定 押す

戻る　初期スキャン　再スキャン

4. チャンネルスキャン実行中

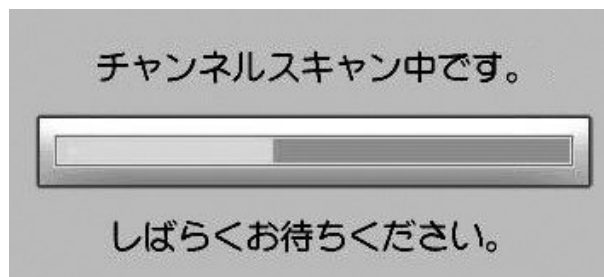
チャンネルスキャンには，しばらく時間がかかります

チャンネルスキャンを中止する場合

決定 押す

中止した場合，受信チャンネルは更新されません。

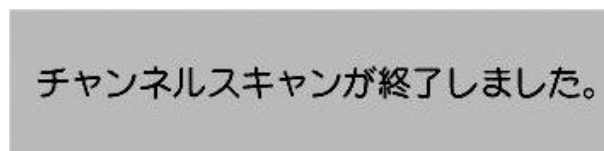
チャンネルスキャン中です。

しばらくお待ちください。

5. チャンネルスキャンの終了

チャンネルスキャン終了を確認し

決定 押す

（「**本機の詳細設定**」に戻ります）

チャンネルスキャンが終了しました。

接続したテレビの設定変更

設定済みの接続したテレビの設定（「接続するテレビの種類」）
を変更します。

1. 本機の詳細設定の選択

 押す

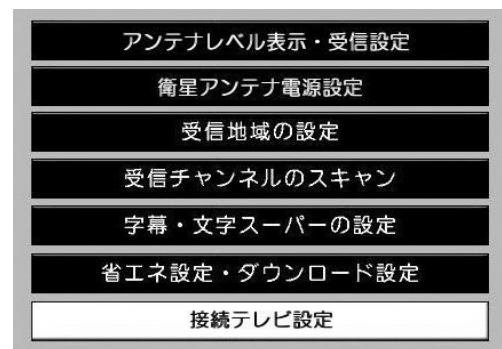
 で「**機器設定**」を選び

 で「**本機の詳細設定**」を選び

決定 押す

2. 接続テレビ設定の選択

 で「**接続テレビ設定**」を選び

 押す

3. テレビの接続設定の変更

 で「**接続するテレビの種類**」を選び

 で設定を変更する

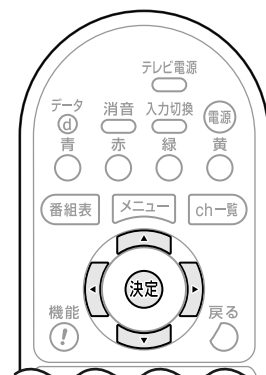
ご注意

通常は「**4:3／ノーマル**」の設定にしてください。「**16:9／ワイド**」に設定すると標準（4:3）テレビで視聴した場合，画面が左右につぶれて縦長の画面になります。

推奨設定

- 施設内のすべてのテレビが4:3のとき　：「**4:3／ノーマル**」
- 施設内のすべてのテレビが16:9のとき：「**16:9／ワイド**」
- 4:3と16:9のテレビが混在しているとき：「**4:3／ノーマル**」

D端子（コンポーネント端子）で接続しないため，「接続するD端子」の設定は不要です。

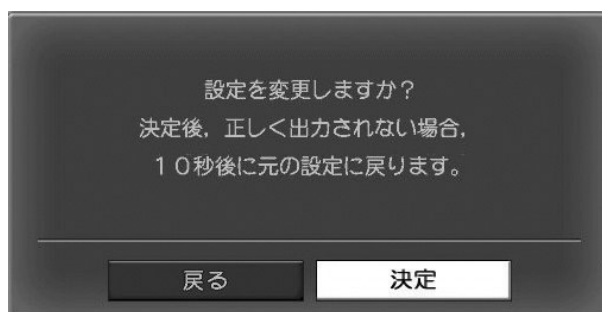
接続したテレビの設定変更 つづき

4. テレビの接続設定の完了

 で「**決定**」を選び

 押す

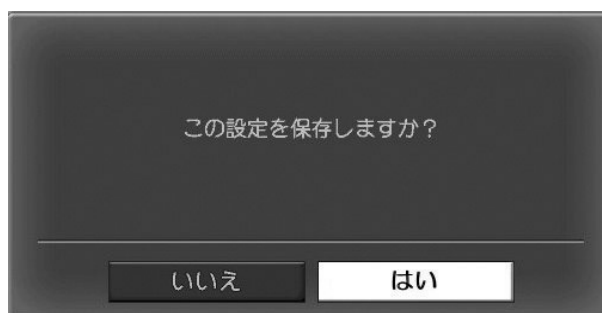
5. 接続設定変更の確認

「**決定**」が選択されていることを確認して

 押す

6. 接続設定保存の確認

設定を変更する場合，10秒以内に

 で「**はい**」を選び

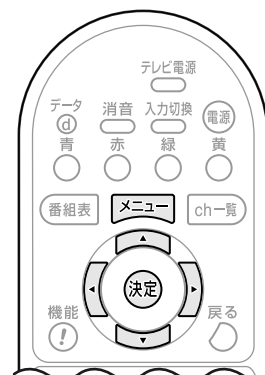
 押す

7. 接続設定保存の完了

接続設定が完了しました

約3秒後に「**本機の詳細設定**」に戻ります

 を押すと，すぐに「**本機の詳細設定**」に戻ります

設定内容の確認

現在，設定されている本機の設定内容を表示します。

1. 機器情報一覧の選択

メニュー 押す

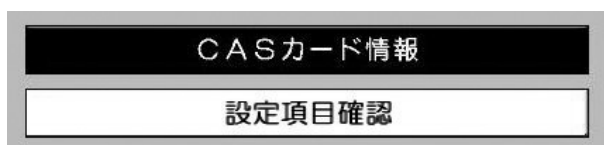
 で「**機器設定**」を選び

 で「**機器情報一覧**」を選び

 押す

2. 設定項目確認の選択

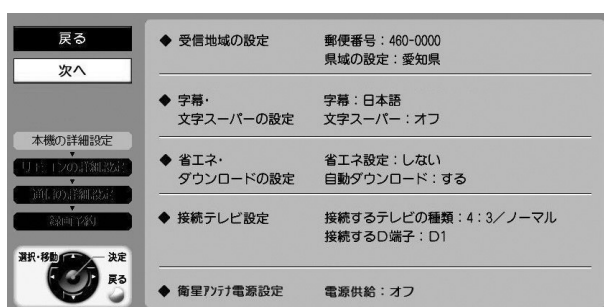
 で「**設定項目確認**」を選び

 押す

3. 本機の詳細設定の表示

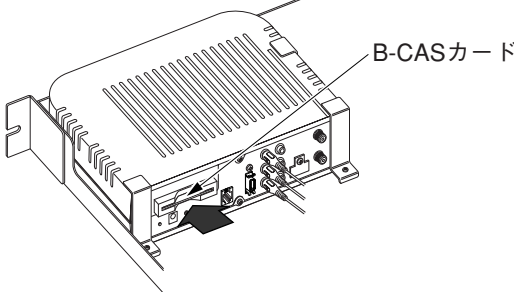
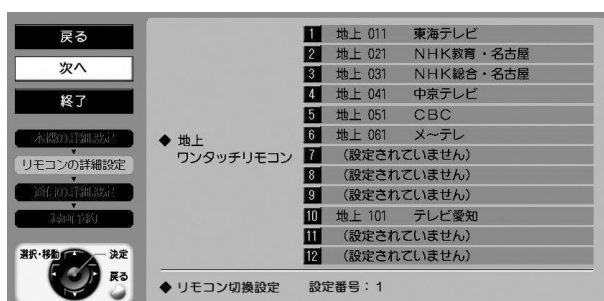
本機の設定内容を表示します

「次へ」が選択されていることを確認して

 押す

決定 押すたびに表示内容が「**リモコンの詳細設定**」→「**通信の詳細設定**」→「**録画予約**」の順に切換ります。

4. 設定内容の確認の終了

設定内容の確認が終了したら

 で「**終了**」を選び

決定 押す

困ったとき　# 故障とお考えになる前に

症状	原因	処置	ページ
電源が入らない。	本機のACプラグがACコンセントに差込まれていない。	ACプラグをACコンセントに差込んでください。	——
映像も音声も出ない。	本機またはテレビの電源が入っていない。	本機またはテレビの電源を「入」にしてください。	7
すべて同じチャンネルが送出される	複数のデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**の電源を入れた状態でリモコン操作したため，複数のユニットが反応している。	● 各種設定は，1台ずつデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TBLU**の電源を入れて行ってください。 ● 設定後は，**HEDA-TBLU**の電源を一度切ってください。 ● **HEDA-TBLU**の設定がすべて終了したら，すべての**HEDA-TBLU**の電源を入れてください。	——
BSデジタル放送の映像も出なくなった。 （昨日までは，見えていた）	強風などのため，衛星アンテナの方向が変わった。 （1〜2°動いても見えなくなることがあります）	衛星アンテナの方向を再度調整し直してください。	——
付属のリモコンで本機の操作ができない。	リモコンの電池が消耗している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。	9
	乾電池の極性（⊕，⊖）が逆になっている。	リモコンの極性表示に合わせて乾電池を入れてください。	
	リモコンを本機の受光部に向けて操作していない。	本機のリモコン受光部に向けて操作してください。	8
	リモコンを本機の操作有効範囲で操作していない。	操作有効範囲で操作してください。	
	リモコンのチューナー切換スイッチと本機のリモコン切換設定の番号が違う。	チューナー切換スイッチを「1」にしてください。 （出荷時は「1」に設定してあります）	9
映像画面の縦横比が不自然になる。	「接続テレビ設定」が，接続されているテレビに合っていない。	「接続テレビ設定」で，接続されているテレビに合わせて設定してください。	25, 26
すべてのボタンの操作ができない。	受信異常などによる。	本機の主電源スイッチを入切してください。	7

困ったとき　メッセージ表示 一覧

メッセージ	処置	ページ
このチャンネルはありません。	正しいチャンネルを入力してください。	18
地上デジタル放送を視聴するには，「受信チャンネルのスキャン」から初期スキャンを行なってください。	地上デジタル放送を視聴する場合，地上デジタル放送受信用アンテナからケーブルを接続して，「初期スキャン」を行なってください。	24
受信可能な地上デジタルチャンネルがありませんでした。地上デジタルアンテナケーブルの接続を確認して，もう一度実行してください。	地上デジタル放送受信用アンテナからのケーブルの接続を確認して，「再スキャン」を行なってください。	24
B-CASカードが未挿入です。	B-CASカードが正しく装着されていない可能性があります。デジタルヘッドエンド用ユニット**HEAD-TBLU**の左右2か所のビスを取外し，ユニットを引き出して，B-CASカードを押し込んでください。 正しく装着しても改善されないときは，当社 支店・営業所にお問合わせください。 B-CASカード	—
未読メールがあります。	まだ，読んでいないメールがあります。 メールを読むときは，メニューの「情報を見る」→「放送メール」で，メールをお読みください。	21
データ取得中	データ放送のデータを取得中です。メッセージが消えるまで，お待ちください。	—
番組説明の情報がありません。	番組説明の情報がありません。 (決定)を押すと元の画面に戻ります。	—
元の設定に戻りました。	設定前の設定に戻りました。	—
地上デジタル放送が受信できないため，リモコンの詳細設定は変更できません。	地上デジタル放送を受信していないため，ワンタッチボタンの修正は行えません。	—
低階層映像に切換わりました。	雨などの影響により，電波が弱くなったため，引き続き放送を受信できる低階層映像に切換えました。画質，音質などが少し悪くなり，音楽情報が表示できないこともあります。	—

困ったとき　エラーコード 一覧

エラーコードは，エラーの内容に
応じて表示されます。

B-CASカードが未挿入です。
(0000)　(E100) ← エラーコード

エラーコード	メッセージ	処置
E100	B-CASカードが未挿入です。	p.29をご覧ください。
E101	ICカードが読み取れません。正しく挿入し直しても改善されない場合は，ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	B-CASカードと本体の接触部にゴミが付着している可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，当社 支店・営業所にご連絡ください。
E102	このカードは使用できません。 正しいICカードを装着してください。	カードIC部の破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，当社 支店・営業所にご連絡ください。
E103	このカードは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約されていない番組を選局しています。 チャンネルを変更してください。
E200	放送チャンネルではないため，視聴できません。	放送されていない番組を選局しています。 チャンネルを変更してください。
E201	低階層映像に切換わりました。	雨などの影響により，電波が弱くなったため，引き続き放送を受信できる低階層映像に切換えました。画質，音質などが少し悪くなり，音楽情報が表示できないこともあります。
E202	信号が受信できません。	アンテナからのケーブル・コネクターの接続を確認してください。
E203	現在放送されていません。	チャンネルを変更してください。
E204	このチャンネルはありません。	チャンネルを変更してください。
E209	衛星アンテナケーブルがショートしています。アンテナとの接続を確認して電源を入れなおしてください。	BS•110°CSアンテナ線がショートしています。 本機の電源を切り，ショートの原因を取除いてから，電源を入れ直してください。
E400	データが受信できませんでした。	別のチャンネルに変更した後，再度データの受信できなかったチャンネルを選局してください。
E401	この受信機では，データを表示できません。	本機ではデータ放送の種類によっては，表示できないものがあります。
E402	データの表示に失敗しました。	別のチャンネルに変更した後，再度データの受信できなかったチャンネルを選局してください。

全体図

3HEDATBL 全体図
LPF ：ローパスフィルター
BPF ：バンドパスフィルター
PS ：電源
PSF ：電源分離フィルター
PJ ：パワーインジェクター
外部フィルター
接続端子
（フィルターへ）
外部フィルター
接続端子
（フィルターから）
地上デジタル
入力端子
分岐
LPF
増幅ユニット
増幅
混合
PJ
BS･110˚CS
入力端子
分岐
分岐
PJ
PSF
入力測定端子
（㊀10dB）
BS･110˚CSアンテナ
電源スイッチ
DC15V
混合
デジアナヘッドエンド用ユニット
チューナー
変調
BPF
モニター
出力端子
デジアナヘッドエンド用ユニット
チューナー
変調
BPF
混合
増幅ユニット
PSF
増幅
モニター
出力端子
デジアナヘッドエンド用ユニット
チューナー
変調
BPF
モニター
出力端子
増幅ユニット
増幅
混合
分波
電源部
出力測定端子
（㊀10dB）
出力端子
分岐
PJ
PS
AC100V
電源スイッチ
AC100V

地上デジタル放送チャンネル 一覧

地上デジタル放送のチャンネルを，地域別に表示してあります。他地域の放送を受信した場合，チャンネルと放送局名が異なることがあります。

地域	チャンネル	放送局名
北海道（北見）	1	HBC北見
	2	NHK教育・北見
	3	NHK総合・北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	7	TVH北見
	8	UHB北見
北海道（旭川）	1	HBC旭川
	2	NHK教育・旭川
	3	NHK総合・旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	7	TVH旭川
	8	UHB旭川
北海道（釧路）	1	HBC釧路
	2	NHK教育・釧路
	3	NHK総合・釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	7	TVH釧路
	8	UHB釧路
北海道（帯広）	1	HBC帯広
	2	NHK教育・帯広
	3	NHK総合・帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	7	TVH帯広
	8	UHB帯広
北海道（札幌）	1	HBC札幌
	2	NHK教育・札幌
	3	NHK総合・札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	7	TVH札幌
	8	UHB札幌
北海道（室蘭）	1	HBC室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	3	NHK総合・室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	7	TVH室蘭
	8	UHB室蘭

地域	チャンネル	放送局名
北海道（函館）	1	HBC函館
	2	NHK教育・函館
	3	NHK総合・函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	7	TVH函館
	8	UHB函館
青森	1	RAB青森放送
	2	NHK教育・青森
	3	NHK総合・青森
	5	青森朝日放送
	6	ATV青森テレビ
岩手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	4	テレビ岩手
	5	IAT岩手朝日テレビ
	6	IBC岩手放送
	8	岩手めんこいテレビ
宮城	1	TBCテレビ
	2	NHK教育・仙台
	3	NHK総合・仙台
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
	8	仙台放送
秋田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	5	AAB秋田朝日放送
	8	AKT秋田テレビ
山形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	FCT福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ

地域	チャンネル	放送局名
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	チバテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
茨城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	とちぎテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	群馬テレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	テレ玉
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学

地域	チャンネル	放送局名
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	tvk
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
山梨	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	4	TeNYテレビ新潟
	5	UX新潟テレビ21
	6	BSN新潟放送
	8	NST新潟総合テレビ
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送
富山	1	KNB北日本放送
	2	NHK教育・富山
	3	NHK総合・富山
	6	チューリップテレビ
	8	BBT富山テレビ
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBC福井放送
	8	福井テレビ

地上デジタル放送チャンネル 一覧 つづき

地域	チャンネル	放送局名
石川	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO北陸テレビ
	8	石川テレビ
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	あさひテレビ
	6	SBS静岡放送
	8	テレビ静岡
愛知	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・名古屋
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	10	テレビ愛知
岐阜	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・岐阜
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	8	岐阜テレビ
三重	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・津
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	3	BBCびわ湖放送
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	KBS京都
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	7	テレビ大阪
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ

地域	チャンネル	放送局名
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	3	サンテレビ
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	9	奈良テレビ放送
	10	よみうりテレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	テレビ和歌山
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
鳥取	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・鳥取
	3	NHK総合・鳥取
	6	BSS山陰放送
	8	山陰中央テレビ
島根	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・松江
	3	NHK総合・松江
	6	BSS山陰放送
	8	山陰中央テレビ
岡山	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本放送
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHK岡山放送
広島	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCC中国放送
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSSテレビ新広島
山口	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	3	tysテレビ山口
	4	KRY山口放送
	5	yab山口朝日放送
高知	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ

地域	チャンネル	放送局名
徳島	1	四国放送
	2	NHK教育・徳島
	3	NHK総合・徳島
香川	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	RNC西日本放送
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHK岡山放送
愛媛	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日テレビ
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
福岡	1	KBC九州朝日放送
	2	NHK教育・福岡
	2	NHK教育・北九州
	3	NHK総合・福岡
	3	NHK総合・北九州
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	4	NIB長崎国際テレビ
	5	NCC長崎文化放送
	8	KTNテレビ長崎
熊本	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
	8	TKUテレビ熊本
大分	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	3	UMKテレビ宮崎
	6	MRT宮崎放送
鹿児島	1	MBC南日本放送
	2	NHK教育・鹿児島
	3	NHK総合・鹿児島
	4	KYT鹿児島読売TV
	5	KKB鹿児島放送
	8	KTS鹿児島テレビ

地域	チャンネル	放送局名
沖縄	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBC琉球放送
	5	QAB琉球朝日放送
	8	OTV沖縄テレビ放送

機器実装用B-CASカード使用に伴う「契約・登録」について

(株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)

受信機器に実装されているカードの使用にあたっては「B-CASカード使用許諾契約約款(機器実装用)」(以下「約款」といいます)に同意し，「契約・登録書」に記名・捺印の上，届出(ユーザー登録：約款第３条参照)して頂く必要がありますので，事前に添付の約款を必ずお読み下さい。

１．ユーザー登録について

１）B-CASカードは，デジタル放送の番組の著作権保護や有料放送の視聴に利用されており，デジタル放送サービス(無料放送，有料放送，ＮＨＫ，他)を受信するために，必要となります(約款第１条参照)。

２）B-CASカードは，複数の放送事業者が共通に利用しており，カードの運用管理，カード交換時の放送事業者の連携(鍵明け変更)等が必要となります。従って カードの使用にあたっては，B-CASシステム(方式)を統括的に運用管理している当社に 必ずユーザー登録をして下さい(約款第３条参照)。 なお，ユーザー登録は無料です。

３）ユーザー登録は，本書に添付された「契約・登録書」に記名・捺印の上，当社に直接送付するか，又は 保守事業者等を経由して送付する方法により行います(約款第３条参照)。

４）登録者情報は，デジタル放送の受信契約等の判断資料として，下表の放送事業者に提供します。ＮＨＫには全カードの使用者，有料放送事業者には「特定業務用カード」の使用者の登録者情報が提供されます。なお，ユーザー登録は有料放送の契約やＮＨＫの受信契約とは違いますので，これ等の受信契約はカード使用者が 個別に夫々の放送事業者と契約等を行ってください。

BS／CSデジタル放送(事業者)一覧　(順不同)	
BSデジタル放送	・NHK(地上デジタル放送を含む)　・BS日テレ　・BS朝日 ・BS―TBS　・BSジャパン　・BSフジ　・WOWOW ・スター・チャンネルBS　他
110度CSデジタル放送	・スカパーJSAT　他
その他の事業者名は，当社のホームページ(http://www.b-cas.co.jp)を参照して下さい。 または 当社のカスタマセンター(TEL:0570-000-250)に お問合せ下さい。	

２．カードの使用にあたっての注意事項(詳細は約款を参照してください)

１）受信機器に実装されているカードの所有権は，当社に帰属しています。当社は約款に従って，使用者にカードを貸与(使用許諾)します(約款第２条参照)。

２）カードの使用にあたっては，使用者の責任で関係する法令や規約等(著作権法，放送法，有線テレビジョン放送法，不正競争防止法，各種受信契約等)を遵守してください。

３）カードは，当社に届け出された業務用途(目的内使用)以外には使用することはできません(約款第２条参照)。
また カードを，一般視聴者の受信機器等に使用させることもできません(約款第10条参照)。

４）「カード」には，有料放送の受信契約が出来ない「業務用カード」と，有料放送の受信契約が可能な「特定業務用カード」の２種類がありますので，カードの種別を確認して下さい(約款第２条３項及び４項参照)。

業務用B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）（KB0021D）

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」という）は，地上デジタルテレビジョン放送，ＢＳデジタル放送および110度ＣＳデジタル放送等（以下「デジタル放送」という）を受信するために，お客様がこの約款の内容に同意される場合に限り，業務用デジタル放送受信機器に実装されたＩＣカード（B-ＣＡＳカード）（以下「カード」という）をお客様が使用することを許諾します。当社は，お客様がこの約款に同意し，添付の「業務用B-CASカード（機器実装用）」契約・登録書（以下「契約・登録書」という）に記名・捺印したときに「業務用Ｂ-ＣＡＳカード使用許諾契約」（以下「本契約」という）が成立したものとみなしますので，事前にこの約款を必ずお読み下さい。

なお，業務用デジタル放送受信機器に実装されるカードには，有料放送の受信契約が出来ない「業務用カード」と，有料放送の受信契約が可能な「特定業務用カード」の２種類がありますので，お客様は本約款に規定された夫々の使用許諾条件に従って使用してください。

第１条（カードの使用目的）

カードは，デジタル放送受信機器を制御する集積回路（ＩＣ）が内蔵されており，デジタル放送の番組等の著作権保護や有料放送の視聴に利用されています。カードは，デジタル放送の無料放送，有料放送，ＮＨＫ，メッセージ表示機能，およびデータ放送等の各種デジタル放送サービス（以下「放送サービス」という）を受信するために必要となります。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

カードの所有権は，B-ＣＡＳシステム（方式）を統括的に運用管理する当社に帰属します。

２．本契約に同意したお客様（以下「使用者」という）は，本契約に基づき，以下の各号に掲げる特定の業務用途の受信機器のためにのみ，カードを使用することができます（以下「目的内使用」という）。
①ホテル・旅館・病院等の業務用のデジタル放送受信機器
②レンタル・リース等の業務用のデジタル放送受信機器
③当社が特に使用を認めた業務用のデジタル放送受信機器
④前各号のフィールドメンテナンスのための用途

３．「業務用カード」が実装された受信機器を利用する使用者は，当該カードで有料放送の受信契約をすることはできません。

４．「特定業務用カード」が実装された受信機器を利用する使用者は，有料放送事業者の許諾が得られた場合に限り，当該カードで有料放送（ペイ・パー・ビュー放送を含む）の受信契約をすることができます。

５．使用者は，カードを本条第２項の業務用途の受信機器に使用するにあたっては，使用者の責任で関係する法令や規約等（例えば著作権法や放送法，各種受信契約等）を遵守してください。

第３条（ユーザー登録等）

当社が，使用者を特定することにより，カードのシステムの安全性確保および放送サービスの向上を図るとともにカードのバージョンアップ等に関する業務を円滑に行うため，使用者は，当社に直接，または，受信機器の製造会社，販売会社もしくは保守事業者（以下総称して「保守業者等」という）を経由して，記名･捺印した契約･登録書を当社に送付することにより，使用者の届出（以下「ユーザー登録」という）をしなければなりません。また使用者は，受信機器をリース契約等により第三者の所有権の基で使用する場合には，当社に届出をしなければなりません（以下これらの全ての情報を「登録者情報」という）。

２．使用者は，本契約締結後，住所変更，その他の事由等により登録者情報に変更が生じた場合は，直ちに当社へ直接または保守業者等を通じて連絡しなければなりません。

３．当社は，前項による登録者情報を，このカードの使用者の真正な情報とみなします。

４．当社が限定受信システム（ＣＡＳ）やカードの利用を認めたデジタル放送の放送事業者やプラットフォーム事業者（以下「放送事業者」といい，具体的な放送事業者名は当社のホームページを参照）に対して，使用者がカードの使用に関する連絡をした場合，当該放送事業者から当社へ使用者の情報（ＩＤ番号，氏名又は法人名，生年月日，住所，電話番号等）が書面又は電子的方法により通知される場合があります。その場合，当社は通知された情報に基づいて使用者のユーザー登録を行います。

第４条（登録者情報の管理）

当社は，登録者情報を別に定めるガイドラインに従って厳格に管理します。

２．当社は，デジタル放送の受信契約等の判断資料として，「特定業務用カード」の使用者の登録者情報（ＩＤ番号，氏名又は法人名，生年月日，住所，電話番号等）を書面または電子的方法により放送事業者に提供します。

３．当社は，「業務用カード」の使用者であっても当社が放送事業者の運用管理に必要と認めた場合は，当該放送事業者に当該登録者情報を書面または電子的方法により提供します。

４．当社は，当社が業務用受信機器の販売・保守運用管理に必要と認めた場合は，保守業者等に当該登録者情報を書面または電子的方法により提供します。

第５条（カードの管理等）
使用者は，受信機器に実装されたカードの紛失，盗難および破損することのないよう十分注意(善良な管理者の注意)をしなければなりません。
２．使用者は，カードが目的内使用以外には使用されないよう十分注意をしなければなりません。
３．当社は放送の受信その他受信機器を用いて行われる全ての操作が使用者によって行われたものとみなし，カードの第三者による不正利用等の事故により損害が生じても，当社は一切の責任を負いません。

第６条（カードの故障等）
使用者は，カードに起因すると推測される受信障害等が発生した場合は，保守業者等に連絡してカード交換等の保守・サービスを受けてください。
２．当社に故意または重大な過失があった場合を除き，カードの故障により，放送サービス等が受信できないことによる損害または保守業者等による保守・サービス等の費用が生じても，当社はその責任を負いません。

第７条（カードの破損，紛失，盗難等）
使用者は，受信機器またはカードの破損，紛失または盗難等にあった場合は，直ちに直接または保守業者等を通じて当社に通知し，当社の指示に従ってください。当社がこの通知を受理した場合には，当社は当該カードを無効とする手続きを行います。
２．使用者は，紛失または盗難等により新たなカードが実装された受信機器を設置した場合は，第３条の規定に基づき新たにユーザー登録をしてください。

第８条（カードの交換依頼等）
カードの不具合やシステム変更(バージョンアップ)等，当社の都合によりカード交換が必要となった場合，当社は直接または保守業者等を通じて使用者にカードの交換を依頼することがあります。

第９条（不使用となったカードの処置等）
使用者は，使用しなくなった受信機器またはカードがある場合には，直接または保守業者等を通じて当社に通知し，当社の指示に従ってください。
２．使用者は，本契約に基づく受信機器に実装された全てのカードを使用しなくなり，直接または保守業者等を通じて当社に通知し受理された場合には，この契約は終了します。

第１０条（禁止事項等）
使用者は，このカードを当社が認めた業務用途(目的内使用)以外には使用することはできません。また使用者は，カードを一般視聴者の受信機器等に使用させることはできません。
２．使用者は，カードの複製，分解，改造，変造若しくは改ざん，またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等，カードの機能に影響を与え，またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
３．使用者は，このカードの使用にあたって，関係する法令や規約等(例えば放送法，有線テレビジョン放送法，著作権法，不正競争防止法，各種受信契約等)に違反して使用をすることはできません。
４．使用者は，カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。
５．使用者は，事前に当社の許諾を受けた場合以外は，カードを譲渡その他方法のいかんを問わず，第三者に使用させることはできません。ただし，第２条に規定する目的内使用に付随して，第三者がカードの実装された受信機器によりデジタル放送を視聴することは，本条項の禁止する第三者によるカードの使用に該当しません。

第１１条（契約違反）
使用者が本契約に違反(例えばユーザー登録，法令違反，目的内使用以外の使用，カードの複製，分解，変造，翻案，カードの譲渡等)した場合，当社は本契約を解除し，使用者に対し，当該カードの返却を求めるほか，当社が被った損害の賠償を請求することができます。

第１２条（免責事項）
当社は，この約款に別段の規定のある場合のほか，カードの使用に関して発生する使用者の損害について当社に故意または重大な過失のある場合を除き，一切の責任を負いません。

第１３条（契約約款の変更）
この契約約款は変更することがあります。この契約約款の変更事項または新契約約款については，当社が別に定める方法で周知します。

規格表・付属品

規格表 Specifications

デジアナ変換部

MASPRO

項目 Items		規格
入力周波数 *Input Frequency*		470〜770MHz（地上デジタル放送），1032〜1489MHz（BSデジタル放送）
受信チャンネル *Reception Channels*		地上デジタル放送およびBSデジタル放送の内，最大3チャンネル
入力信号 *Type of Input Signal*		ISDB-T（地上デジタル放送），ISDB-S（BSデジタル放送）
出力周波数 *Output Frequency*		470〜770MHz
出力チャンネル *Output Channels*		ch.13〜62の内，最大指定3チャンネル（隣接不可）
入力レベル範囲 *Input Level Range*		55〜100dBμV（地上デジタル放送）※1，70〜95dBμV（BSデジタル放送）
出力レベル調整範囲 *Output Level Control Range*		0〜⊖10dB以上（連続可変）
音声出力モード *Audio Output Mode*		ステレオ固定
出力信号 *Type of Output Signal*	映像変調方式 *Video Modulation Type*	VSB-AM（NTSC）
	音声変調方式 *Audio Modulation Type*	FM（音声多重）
最大出力レベル *Maximum Output Level*		90dBμV以上（変換したアナログ放送信号），地上デジタル放送は⊖10dB運用
入力測定端子結合量 *Tap Value of Input Test Port*		⊖10dB（F型コネクター），［1032〜1489MHz（BSデジタル放送）］

※1 パス回路未使用時

地上デジタル・BS・110˚CSパス部

項目	規格
入力周波数 *Input Frequency*	470〜770MHz（地上デジタル放送），1032〜2150MHz（BS・110˚CSデジタル放送）
入力レベル範囲（パス回路使用時） *Input Level Range*	80〜100dBμV（地上デジタル放送）
出力レベル調整範囲 *Output Level Control Range*	0〜⊖20dB以上（連続可変，地上デジタル放送）
最大出力レベル *Maximum Output Level*	アナログ出力レベルに対して⊖10dB運用（地上デジタル放送）
通過帯域損失 *Insertion Loss*	⊖5dB以下（BS・110˚CSデジタル放送）

共通仕様

項目	規格
入・出力インピーダンス *Input/Output Impedance* ※1	75Ω（F型コネクター）
VSWR *Voltage Standing Wave Ratio* ※1	3以下
出力測定端子結合量 *Tap Value of Output Test Port*	⊖10dB（F型コネクター）
電源 *Power Requirements*	AC100V　50・60Hz
消費電力 *Power Consumption*	約53W／約86VA（3局装着，BS・110˚CSアンテナへ4W給電時）
使用温度範囲 *Temperature Range*	0〜⊕40℃
外観寸法 *Dimensions*	673（H）×535（W）×455（D）mm（キャスター含む） ※2
質量（重量） *Weight*	33kg（3局装着時）
備考 *Notes*	屋内仕様のみ

※1 地上デジタル入力端子：470〜770MHz，BS・110˚CS入力端子：1032〜2150MHz，
出力端子：470〜770MHzおよび1032〜2150MHz

※2 奥行き（D）は，フィルター接続ケーブルを含む値です。

リモコン

MASPRO

項目 Items	規格
電源 *Power Requirements*	DC3V（単3形乾電池2本使用）
操作距離 *Control Distance*	約7m以内 （正面距離）
操作範囲 *Control Range*	左右方向約30˚以内，上下中心から約20˚以内
外観寸法 *Dimensions*	26（H）×54（W）×215（D）mm
質量（重量） *Weight*	約115g（乾電池含まず）

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

付属品

防塵キャップ ‥‥‥ 受信局数+3

リモコン ‥‥‥‥‥ 2個

単3形乾電池 ‥‥‥‥ 4本（お試し用）

業務用B-CASカード使用許諾契約約款 ※‥‥ 受信局数分

面ファスナー ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4組（リモコン固定用）

アースラグ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1個

※「B-CASカード」と「カードID番号バーコードシール」（5枚中2枚）は，製品に使用してあります。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい

＝マスプロ電工＝

本社　〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80

技術相談　TEL名古屋 **（052）805-3366**

受付時間　9～12時，13～17時

（土・日・祝日，当社休業日を除く）

インターネットホームページ　www.maspro.co.jp

技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部　支店・営業所

首都圏電材（営）（03）5469-5521
首都圏（シ）（03）3499-5632
西日本（シ）（082）230-2359
中日本（シ）（06）6632-1144
北日本（シ）（022）786-5062

福　岡（支）（092）551-1711
沖　縄　（098）854-2768
鹿児島　（099）812-1200
宮　崎　（0985）25-3877
熊　本　（096）381-7626
長　崎　（095）864-6001

北九州　（093）941-4026
下　関　（083）255-1130

広　島（支）（082）230-2351
松　江　（0852）21-5341
岡　山　（086）252-5800
松　山　（089）973-5656
高　知　（088）882-0991
高　松　（087）865-3666

大　阪（支）（06）6635-2222
姫　路　（079）234-6669
神　戸　（078）231-6111
京　都　（075）646-3800

東　海（工）（052）804-6262

名古屋（支）（052）802-2233
津　（059）234-0261
岐　阜　（058）275-0805
豊　橋　（0532）33-1500
静　岡　（054）283-2220
松　本　（0263）57-4625
福　井　（0776）23-8153
金　沢　（076）249-5301

関　東（工）（03）3499-5631
東　京（支）（03）3409-5505
新　潟　（025）287-3155
横　浜　（045）784-1422
八王子　（042）637-1699
千　葉　（043）232-5335
さいたま　（048）663-8000

前　橋　（027）263-3767
水　戸　（029）248-3870
宇都宮　（028）636-1210

仙　台（支）（022）786-5060
郡　山　（024）952-0095
盛　岡　（019）641-1500
秋　田　（018）862-7523
青　森　（017）742-4227
札　幌　（011）782-0711
釧　路　（0154）23-8466
旭　川　（0166）25-3111

（営）：営業グループ
（シ）：システム営業グループ
（工）：工事グループ

AUG.,2010

2K56-412

TK(B)-08-5412-2C